

# 労働組合の団結と連帯で デタラメ外注化と労働者分断をぶつとばせ!

# 動 労 水 戸

**国鉄水戸動力車労働組合**

水戸市三の丸三・一・三

発行責任者 石井真一 編集者 西納岳史

電話 029・227・6020

FAX 029・227・6291



太子運輸科門前で抗議行動に立つ(10月4日)

10月4・7日、外注化への  
絶対反対ストライキ貫徹

昨年10月1日の検修・構内外  
注化から1年、JR水戸支社  
は安全と労働者を無視し続け  
破綻してきた上に、作業の中心  
である誘導・計画業務をまとも  
な説明も教育も体制もなしに  
強行した。動労水戸のストライ  
キで、その破産が露呈した。

10月4日のストで、MTSは  
代替え(スト破り)を手配でき  
ずに「MTS本社が承知してい  
るから誘導はいなくてもよい」

と言いつつ、誘導などやったこ  
ともないアドバイザーを充当し、  
人間ドックの社員を呼び出し  
た。その社員が翌日も医者に行  
くために誘導計画の作成が終  
わり帰宅したため、深夜帯から  
翌朝にかけて誘導担当者はい  
なかったのだ。水戸事業所では、  
作業と誘導担当者・F番が午  
後から不在のまま放置された。  
会社の都合で休暇も勤務も  
デタラメに変える。しかも作業  
担当者が不在でも構わない。い  
たい鉄道の歴史でこんなデタラ  
メがまかり通ったことがあるだ  
ろうか。東労組・国労幹部はこ  
んなデタラメ提案の「妥結競争」  
をしている。腐った幹部に身を  
任せて、泣くのは組合員である。

4日のストライキでは、太子  
運輸科門前に20名を超える組  
合員、家族、支援者が結集し  
た。いつもは静かな町に怒りの  
シユプレヒコールと組合員の訴  
えがこぎやりました。

「仕業の外注化から1年、い  
まだに作業要領もチェック表も  
ないのはどういうわけだ!」土  
浦支部の厳しい弾劾、「田舎だ  
と思つてデタラメやつてんのか!」

の太子支部組合員の声には、ど  
つと笑いが出る。みんなとても明  
るい。

7日は、勤務者全員がストラ  
イキに入った。ストライキは、何  
よりも仲間を守り団結するた  
めにある。会社は職場と仲間  
をバラバラにして、孤立させる  
ことであきらめさせ、儲けを増  
やすのだ。だから、最大の反撃  
は団結を固めることだ。だから  
動労水戸は、闘いの後は、それ  
を反省し、次の課題を話し合  
う。一人一人がとても個性的  
であることを認め合い、心の底  
で思い合い、団結を大事にして  
いる。それが労働組合だ。



全員がJRに戻るまで闘うぞ! 出向者激励会(10月7日)

**労働組合の団結は  
職場も国境も越える**

職場だけでは見えないこ  
とが、職場を越えて連帯  
することで見える。動労水  
戸のベストとTシャツには  
「Solidarity(連帯)」の文字  
がプリントされている。労  
働組合の「連帯」は、職場  
も国境も越えるという意  
味だ。外注化・分社化・非  
正規職化を進めるため労  
働組合を無力化すること  
は、社会全体の動きだ。

10月11日、動労水戸は、  
会社の横暴と過労死を弾  
劾し労働組合を作り、分  
社化による組合つぶしと闘  
う小竹運輸グループ労働



水戸駅街宣に立つ小竹運輸労組の仲間(10月11日)

## 11・3全国労働者総決起集会

☆今こそ闘う労働組合を全国の職場に!

- 国鉄1047名解雇撤回! JRの業務外注化阻止!
- 安倍政権の改憲・TPP・民営化・解雇自由・非正規職化の攻撃を止める!
- 反原発・反失業! 全世界の労働者と団結し「生きさせる」の大反乱を!

11月3日(日)正午 於:東京・日比谷野外音楽堂

組合との連帯行動に立ち上がった。トレーラーを運転してきた「わっぱ回し」の労働者が、初めてビールを配り、拡声器で訴えた。とてもない怒り、そして勝負に出た迫力が、水戸駅前の人々の心を捉え、ビールを取りに来る人が続出した。用意した500枚のビールを1時間で配りきった。私たちは、同じ問題と、同じ敵と闘っているのだ。闘う労働組合が全国から集まる11・3全国労働者総決起集会に結集しよう!